

**学校が変わり、地域が変わり、
そして子どもたちが光り輝く**

宇治市の小中一貫教育

宇治市では、平成24年度から市内全ての市立小・中学校で小中一貫教育を実施します。

この小中一貫教育をとおして、子どもたち一人一人の学力の充実・向上を図るとともに、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、義務教育9年間で『子どもたちが自らの将来を切り拓く力』を身に付けることをめざします。

宇治市教育委員会

小中一貫教育の考え方

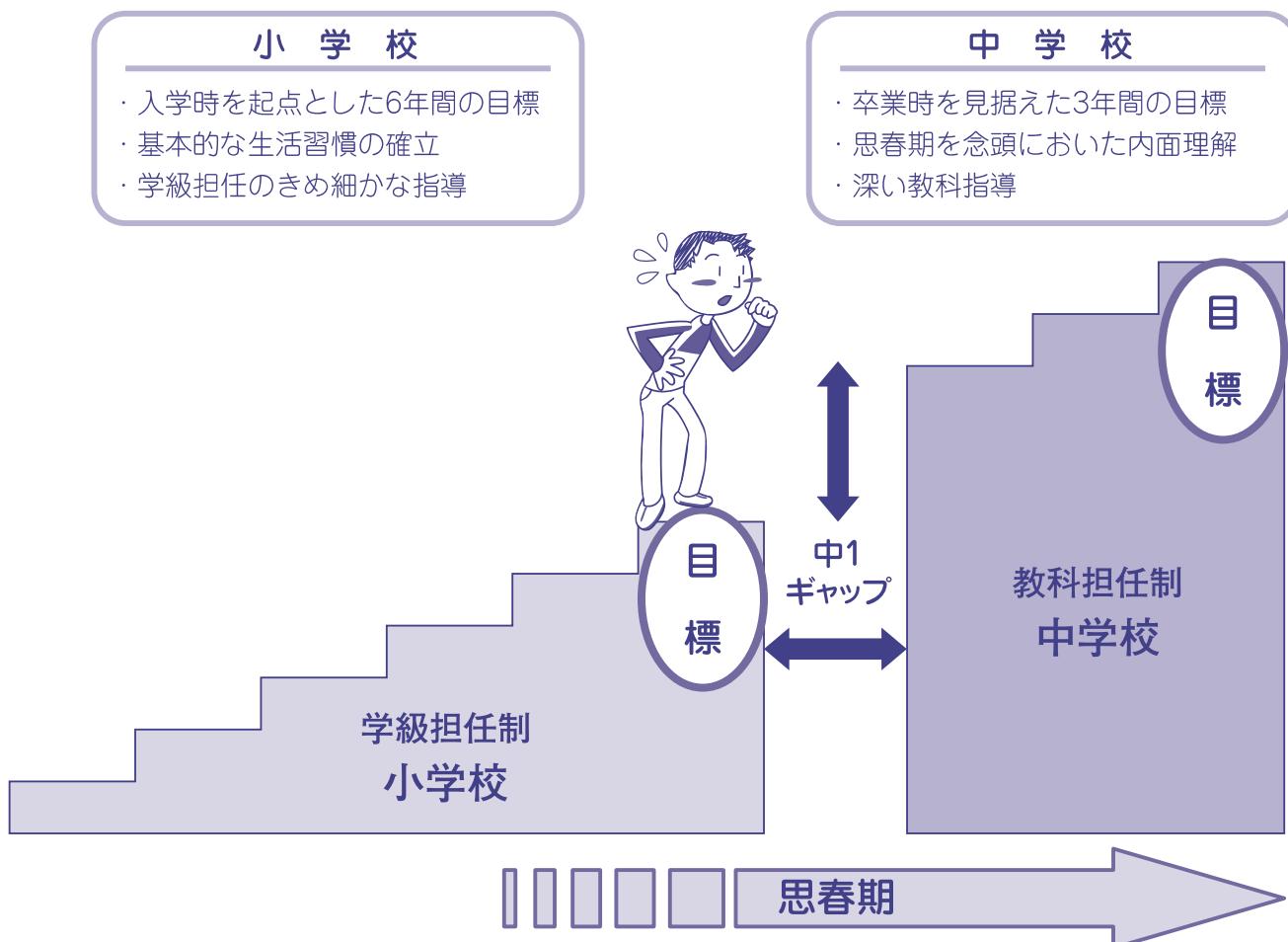
戸惑いを見せる子どもたち

現在我が国では、義務教育9年間を小学校6年間と中学校3年間に分け、それぞれの目標を個々に設け、学級担任制と教科担任制など、小学校と中学校とでは異なった教育システムで独立した教育を行っています。

しかし、少子化や高度情報化など、変化の激しい社会において、今日、子どもたちの発達にも変化が見られます。

例えば、これまで思春期は中学生の時期のことと思われていたのが、今やその入口は小学校高学年だとも言われています。

その中で、子どもたちの心の中の思いと学校の指導とがうまくかみ合わず、子どもたちに「自分のことをわかってもらえない」という不満を残す場合があったり、中学校では担任と接する時間が少ないことなどの小学校と違う教育システムに、戸惑いや負担を感じて学校生活に対する意欲が減少したりする様子が見られます。（いわゆる「中1ギャップ」）

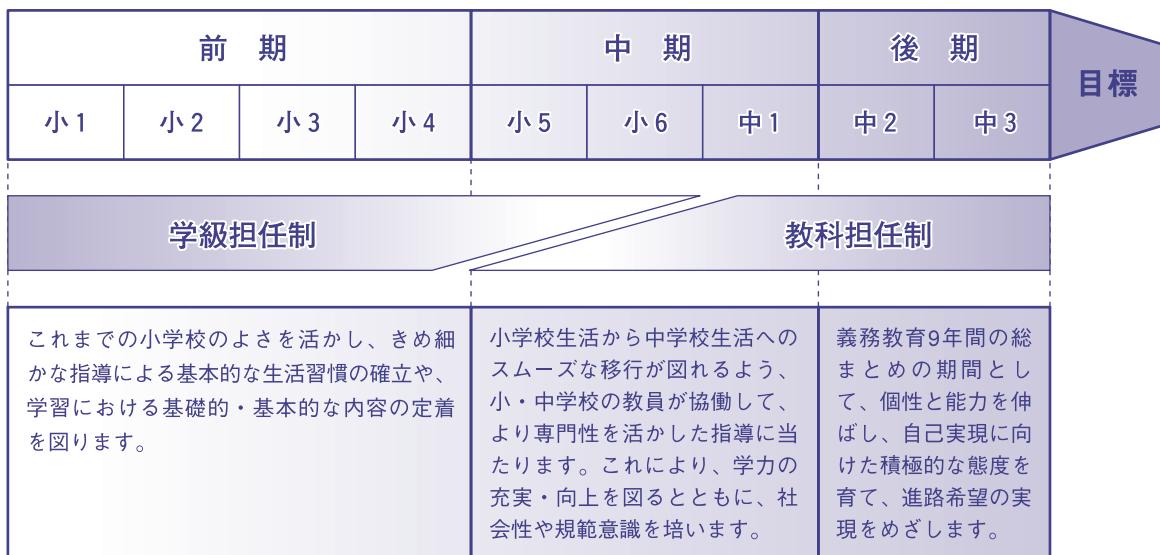


このような子どもたちの発達の変化に対応し、これまでの小学校や中学校のよさを活かしつつ、「成長」という階段を一段ずつ、滑らかに上らせることができるような新たな教育システムが、今、求められています。

一人の人間の成長として

教育で重要なことは、小・中学校の教員が一体となり、『一人の人間の成長』という観点で、義務教育終了時の目標に向かって9年間、責任を持って指導を行うことです。

そのためには、小・中学校で目標が共通理解され、系統的、継続的な学習指導や生徒指導、進路指導等を組織的に展開する必要があります。子どもたち一人一人の育ちを支援するこの『新たな教育システム』が、本市の実施する小中一貫教育です。



小中一貫教育全面実施に向けての取組

本市では、平成24年度の小中一貫教育全面実施に向け、宇治市小中一貫教育推進協議会や小中一貫教育研究指定校の取組、保護者説明会の開催、学校関係者からの意見聴取などに取り組むなど、諸準備を計画的に進めています。

小中一貫教育全面実施に向けての取組



なお、本市初めての小中一貫校として、宇治小学校敷地に（仮）第一小中一貫校を整備し、平成24年度春に開校する予定です。

小中一貫教育の先進校での取組紹介

総合的な学習の時間で、5・6・7（中1）年生が一緒に学習しています。5・6年生は7年生から学び方を学ぶことができ、7年生は中期のリーダーとして5・6年生にアドバイスするという大切な役目を担っています。【広島県呉市 呉中央学園ホームページより抜粋】



力リキュラムは、小学校・中学校の教員が共同で作成した。このことにより、小学校では、今学習していることが中学校ではどう発展するのかを知った上で授業ができ、また中学校では、今学習していることの原点は小学校のどこにあるのかを知った上で授業ができる。

こうした、通常の授業での連携のほかにも、行事の共同開催、小中の合同研究、児童会・生徒会の交流など、3つの学校の児童・生徒が触れ合う機会は多い。

「従来なら、入学式ではじめて井口小学校と第二小学校の児童が顔を合わせるわけですから、最初はよそよそしく、心細い生徒もいる。でも、小中一貫教育校になってからは、すでに顔見知りの子が何人もいる。中学校にも知っている生徒や先生がいる。初日からとても打ち解けたムードが漂っていたんです」

いわゆる「中1ギャップ」、つまり今までと全く違う中学校の環境に適応できず、いじめや不登校が急増するという現象のことだが、「このような問題の解決にも小中一貫教育は有効だと思う」

「今まででは、中学校に入ってからいろいろな問題に直面している子どもの姿を遠目に見ることはあっても、小学校の教員は、手助けはできなかった。でも、今なら、ずっと見守ってあげることができる。子どもたちには、中学校の厳しさと小学校のきめ細かさの両方が必要なんです」

【内田洋行 教育総合研究所 学びの場.com『高篠栄子の教育現場ルポ』
東京都三鷹市 にしみたか学園大嶺学園長及び山口先生談より抜粋】
<http://www.manabinoba.com/index.cfm/4,8150,249.html>

児童生徒のふれあいは、行事だけではなく昼休みの時間などにも多く見られます。異年齢集団で楽しく活動していますが、特に前期生の児童は中学部の生徒に見守られて、安心した表情で活動に取り組んでいます。また、中学部の生徒も穏やかな表情で、小さい児童を気遣いながら活動しています。

知らず知らずのうちに、自分の後ろ姿に責任を持つ態度が育っている様に感じます。

【宮崎県日向市 平岩小中学校ホームページより抜粋】

【お問い合わせ先】 宇治市教育委員会事務局 教育部 教育改革推進室 小中一貫教育課
電話(0774)-21-1890（直通） FAX(0774)-21-0400
E-Mail : ikkankyouiku@city.uji.kyoto.jp

【発 行】 宇治市教育委員会 平成20年9月

